

きほん

1

- ① (あ)
- ② (う)
- ③ (え)
- ④ (い)

見たことのある とけいは あるかな。
 おうちや 学校など、みぢかに ある
 とけいを さがしてみよう。

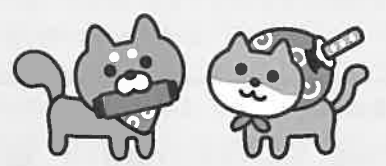
算数の壁をすらすら攻略！
 小学1年生 とけい

こたえ

- ひとつ ひとつ、じぶんの こたえと
見くらべて、あって いたら ○を しよう。
- まちがえたら、こたえの 下の アドバイスや
ちゅういする ところを よんで、
もんだいを ときなおして できるように しよう。
- ぜんぶ ○に なったら、もんだいの ページに
「できたねシール！」を はろう。

おうちのかたへ

毎回、つまずきの克服ポイントやほめポイントを記しています。お子さまの学びの手助けになるよう、ご活用ください。



← ていねいに ひっぱって ください。

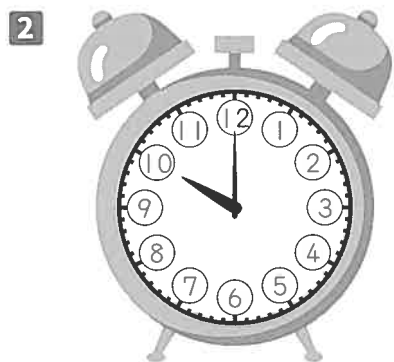
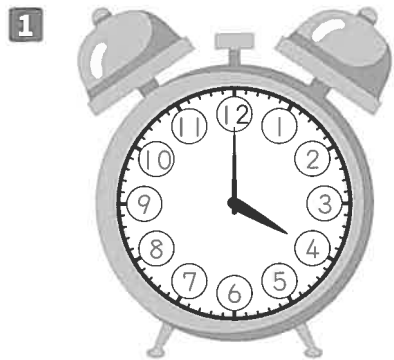
● おうちのかたへ

身の回りにあるいろいろな時計と、その時計が使われている場面を結びつけます。おうちにはどんな時計があるのでしょうか。一緒に探してみてください。

★ OK! 身の周りの時計がわかる。

上の「OK!」では、その回でお子さまができるようになったことを、確認できます。お子さまが身に付けた力の証となりますので、答え合わせを終えたら、に✓していきましょう。

きほん



とけいの すうじは「1」から「12」まで あるよ。すうじの ばしょを おぼえよう。

● おうちのかたへ

時計の文字盤の数字をよむ練習です。文字盤には1から12までの数字が順番に並んでいることを確認しましょう。

★ OK! 時計の文字盤の数字がわかる。

きほん



(3じ)

- 1 ① (3じ) ② (3じ)

どんな とけいでも、「3じ」の ときのはりの いちは おなじだよ。

- 2 ① (1じ) ② (2じ) ③ (3じ) ④ (4じ) ⑤ (5じ) ⑥ (6じ)

ながい はりが「12」を さす ときは、みじかい はりが さす すうじを よめば いいんだね!

● おうちのかたへ

まずは、「何時」ちょうどをよむ練習です。短い針が指す数字を順番に確認して、「何時」の言い方に慣れるようにしましょう。文字盤の数字の位置にも、じょじょに慣れていきましょう。

きほん

- 1 ① (7じ) ② (8じ) ③ (9じ) ④ (10じ) ⑤ (11じ) ⑥ (12じ)

- 2 ① (8じ) ② (10じ) ③ (1じ) ④ (6じ) ⑤ (12じ) ⑥ (4じ)

「なんじ」ちょうどの ときのはりの いちは、かならず「12」だね。

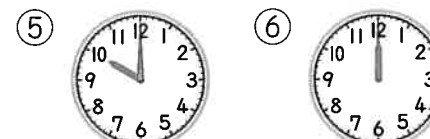
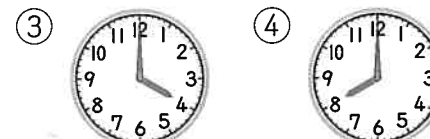
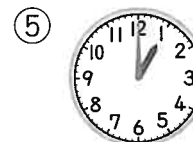
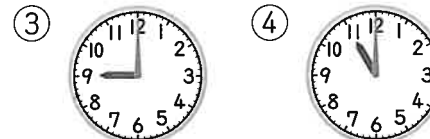
● おうちのかたへ

はじめて時計をよむお子さまは、針が2本あることで、どちらの先を見ればよいのか混乱することもあります。慣れるまでは、「〇時」ちょうどのときに時計を一緒に見ながら、「短い針はどっちかな。どこを指しているかな」と、よむ方の針を教えてあげるとよいでしょう。そのときに、もう一つの長い針が、いつも「12」の位置にあることに、お子さまが気づいたら、大いにほめてあげましょう。

★ OK! ③・④

- 長針・短針の区別がつく。 「何時」のよみ方がわかる。

れんしゅう



「〇じ」ちょうどの ときのはりは、「〇」の すうじを さすよ。たとえば「3じ」の ときのはりは「3」を さすよ。

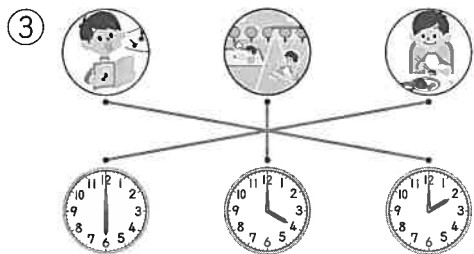
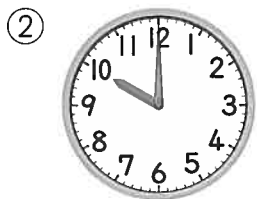
● おうちのかたへ

「〇時」のとき、長針は12を指すように、また、短針は〇の数字を指すようにかくことを確認しましょう。

★ OK! 「〇時」のときの、長針と短針の位置がわかる。

おうようだい

1 ① (7じ)



④ (9じ)

ながい はりが 12の とき、「〇じ」
ちょうどに なるよ。

● おうちのかたへ

様々な日常生活の場面と、そのときの時刻を答える問題です。時計を見て時刻をよんだり書いたりするだけでなく、日常生活と時刻の関連を意識できるとよいでしょう。ふだんから「何時に起きたの?」、「9時に寝よう」などと声をかけて、時計を見る習慣をつけましょう。

★ OK! □ 生活の場面と結びつけて「何時」がわかる。

きほん

(10じはん)

- 1 ① (10じはん)
② (10じはん)

どんな とけいでも、「10じはん」の
ときの はりの いちは おなじだよ。

- 2 ① (1じはん)
② (2じはん)
③ (3じはん)
④ (4じはん)
⑤ (5じはん)
⑥ (6じはん)

みじかい はりを よむときは、まえの
ほうの すうじを よむよ。

● おうちのかたへ

「〇時半」をよむ練習です。最初は本物や教具の時計を使い、長針を12から6まで実際に動かして、短針は次の数字との間で止まることを見せてあげるとよいでしょう。そして、「〇時半」のとき、短針は「〇」とその次の数字の間を、長針はいつも「6」を指すことを確認しましょう。

きほん

- 1 ① (7じはん)
② (8じはん)
③ (9じはん)
④ (10じはん)
⑤ (11じはん)
⑥ (12じはん)

- 2 ① (3じはん)
② (9じはん)
③ (5じはん)
④ (12じはん)
⑤ (7じはん)
⑥ (2じはん)

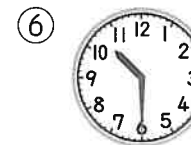
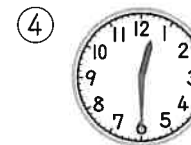
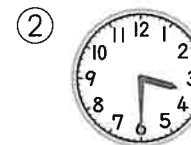
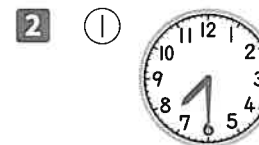
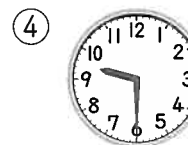
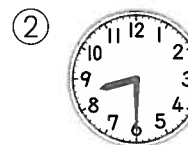
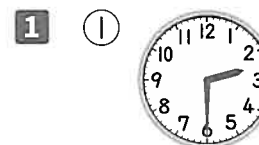
ながい はりが 6を さして いるから、「〇じはん」になるね。
〇の すうじは、みじかい はりが どの すうじと どの すうじの あいだにあるかを 見るよ。

● おうちのかたへ

「〇時半」のとき、短針が2つの数字の間を指すことから、どちらをよめばよいかわからなくなるお子さまもいます。短針が2つの数字の間にある場合、(右回りで見たときの)「前の」数字をよめばよいことに気づけたら、ほめてあげましょう。

★ OK! ⑦・⑧
□ 「何時半」のよみ方がわかる。

れんしゅう














「〇じはん」の とき、ながい はりは
いつも 6を さすよ。

● おうちのかたへ

1は、「〇時半」のときの長針なので、6を指すようにかきます。ただの作業にならないように、短針の位置も確認しながら進められるとよいでしょう。

れんしゅう

- 1 ①  ②  ③ 
 ④  ⑤ 
 2 ①  ② 
 ③  ④ 
 ⑤  ⑥ 

「〇じはん」のとき、みじかい はりは
 ○と つぎの すうじの あいだの ま
 なか
 ん中を さすよ。




● おうちのかたへ

「〇時半」のときの短針をかく問題です。お子さまのかく短針が、〇時と次の数字の真ん中でなくても、数字と数字の間にかけていたら、正解としてよいでしょう。



「〇時半」のときの、長針と短針の位置がわかる。

おうようだい

- 1 ① (7じはん) ② 
 ③ (3じはん) ④  
 () (○)

とけいの ながい はりが 6を さす
 とき、「〇じはん」に なるよ。

● おうちのかたへ

ある1日のようすを見て、その中の場面の時刻を答える問題です。ふだんから、日常生活の中のいろいろな場面で、「ご飯は7時半までだよ」「8時半にはふとんに入るよ」など、声をかけてあげましょう。



生活の場面と結びつけて「何時半」がわかる。









きほん

- ① (8じ) ② (10じはん)

- 1 ① (2じ) ② (11じ)
 ③ (12じはん)
 ④ (5じはん)

「:」の うしろが「00」なら「〇じ」、
 「30」なら「〇じはん」だね。

れんしゅう

- 1 ①  → 
 ②  → 
 ③  → 
 ④  → 




● おうちのかたへ

デジタル時計の「〇時」、「〇時半」のよみ方を覚えます。よめるようになったら、家にあるデジタル時計とアナログ時計を使って、「〇時」や「〇時半」の時刻が、それぞれどのように表されているかを見比べてみましょう。











デジタル時計での、「何時」・「何時半」のよみ方がわかる。




きほんレベル

- 1 ① (2じ) ② (7じ)
 ③ (11じ)
 2 ① (10じはん) ② (4じはん)
 ③ (6じはん)
 3 ①  ②  ③ 

はってんレベル

- 4 ①  → 
 ②  → 
 ③  → 
 ④  → 

すうじの かかれていない とけいでも
 めもりの いちは おなじだよ。

- 5 ①  ②  ③ 

はじめに ながい はりと みじかい
 はりの どちらを かけば よいかを
 かんがえよう。

● おうちのかたへ

「何時」・「何時半」のまとめの問題です。理解できていないところがないかを確認しましょう。間違えた場合は、どこでつまづいたのかを見てあげましょう。



「何時」・「何時半」がわかる。
 デジタル時計のよみ方がわかる。

きほん

1 ていねいに よみましょう。

2

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35
36	37	38	39	40
41	42	43	44	45
46	47	48	49	50
51	52	53	54	55
56	57	58	59	60(0)

1からじゆんにすうじをよみながら、あいているところにすうじをかこう。

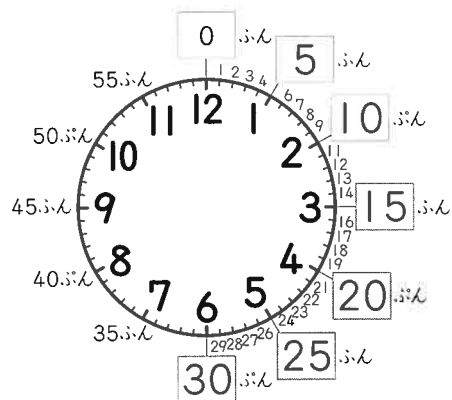
● おうちのかたへ

まずは、時計の文字盤を見て、1から12の数字の目盛りの間の小さな目盛りが、1から60までであることを確認しておきましょう。

数字を書きおえたら、5ごとの固まりを意識しながら、一緒に数唱をしてみましょう。

★ OK! 60までの数を覚えている。

きほん



- 1
- ① (8じ5ふん)
 - ② (8じ10ふん)
 - ③ (8じ15ふん)
 - ④ (8じ20ふん)
 - ⑤ (8じ25ふん)

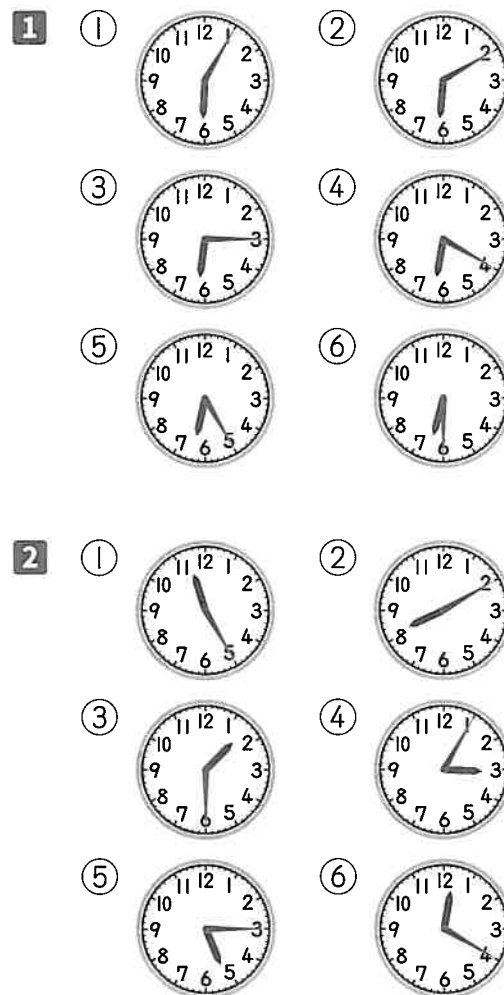
ながい はりが すうじの めもりをさしているね。5とびの かぞえかたで かぞえて、なんぷんかを こたえよう。

● おうちのかたへ

長針が1を指しているとき、その数字をよんで「〇時1分」と間違えてしまうお子さまもいます。そのような場合は、「〇分」は文字盤の数字ではなく長針が指す目盛りでよむこと、1までは5目盛りあることを一緒に確認しましょう。

★ OK! 「〇時30分」までの、5分ごとの時刻のよみ方がわかる。

れんしゅう



ながい はりが すうじの めもりをさすように かこう!

● おうちのかたへ

長針が数字の目盛りを指すときの練習です。5とびの数え方で数えていくとよいでしょう。また、「〇時30分」は以前に学習した「〇時半」と同じ時刻であることに気づけたら、ほめてあげましょう。

★ OK! 「〇時30分」までの、5分ごとの長針の位置がわかる。

きほん

(7じ5ふん)

- 1
- ① (7じ1ふん)
 - ② (7じ2ふん)
 - ③ (7じ3ふん)
 - ④ (7じ4ふん)

- 2
- ① (3じ5ふん)
 - ② (9じ1ふん)
 - ③ (5じ4ふん)
 - ④ (2じ3ふん)
 - ⑤ (10じ2ふん)
 - ⑥ (6じ5ふん)

みじかい はりで「なんじ」、ながい はりで「なんぷん」をよむよ。

● おうちのかたへ

時計をよむときは、まず短針で「〇時」を、次に長針で「〇分」をよみます。「〇時」は短針がどの数字とどの数字の間にあるかを見て判断すること、「〇分」は長針が指している目盛りでよむことを確認しましょう。

★ OK! 「〇時1分」から「〇時5分」までの、1分刻みの時刻のよみ方がわかる。

きほん

(7じ10ぷん)

- 1 ① (7じ6ぷん)
 ② (7じ7ぷん)
 ③ (7じ8ぷん)
 ④ (7じ9ぷん)
- 2 ① (8じ10ぷん)
 ② (1じ7ぷん)
 ③ (11じ9ぷん)
 ④ (4じ8ぷん)
 ⑤ (12じ6ぷん)
 ⑥ (2じ7ぷん)

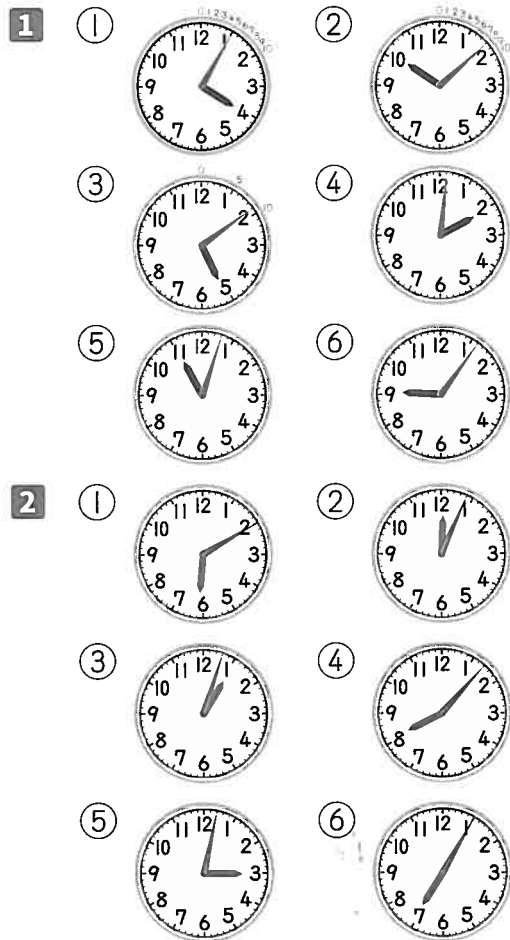
とけいの すうじの 1から なんめもり すすんで いるかを かぞえて みよう。

● おうちのかたへ

長針が「6分」から「10分」を指すときの時計をよみますが、目盛りを1から数えていくのは大変です。まずは、文字盤の1は「5分」、2は「10分」と覚えましょう。そして、1を基準にして「5分」、「6分」、…、「10分」と目盛りを数えられるようにしましょう。

★ OK! □ 「〇時6分」から「〇時10分」までの、1分刻みの時刻のよみ方がわかる。

れんしゅう



「〇じなんぷん」の とけいの みじかい はりは、「〇」の すうじと その つぎの すうじの あいだに かくよ!

● おうちのかたへ

長針は「分」を表すので、〇分を確認し、その目盛りを指すようにかきます。短針は、「時」を表します。「〇時(ちょうど)」ではないので、はっきりとどこを指すとはいえません。「〇時」と次の数字の間にかけていたら十分です。正解としてあげましょう。

★ OK! □ 「〇時1分」から「〇時10分」までの、長針と短針の位置がわかる。

きほん

(8じ15ぷん)

- 1 ① (8じ11ぷん)
 ② (8じ12ぷん)
 ③ (8じ13ぷん)
 ④ (8じ14ぷん)

ながい はりは 2と 3の あいだにあるね。

- 2 ① (5じ15ぷん)
 ② (10じ13ぷん)
 ③ (2じ14ぷん)
 ④ (6じ11ぷん)
 ⑤ (9じ15ぷん)
 ⑥ (3じ12ぷん)

ながい はりが 2を さすのは なんぷんの ときかな?

● おうちのかたへ

長針が「11分」から「15分」を指すときの時計をよみます。文字盤の2は「10分」、3は「15分」であることを基準にして目盛りを数えましょう。

★ OK! □ 「〇時11分」から「〇時15分」までの、1分刻みの時刻のよみ方がわかる。

きほん

(8じ20ぷん)

- 1 ① (8じ16ぷん)
 ② (8じ17ぷん)
 ③ (8じ18ぷん)
 ④ (8じ19ぷん)

ながい はりは 3と 4の あいだにあるね。

- 2 ① (12じ20ぷん)
 ② (1じ19ぷん)
 ③ (7じ17ぷん)
 ④ (4じ18ぷん)
 ⑤ (11じ16ぷん)
 ⑥ (3じ19ぷん)

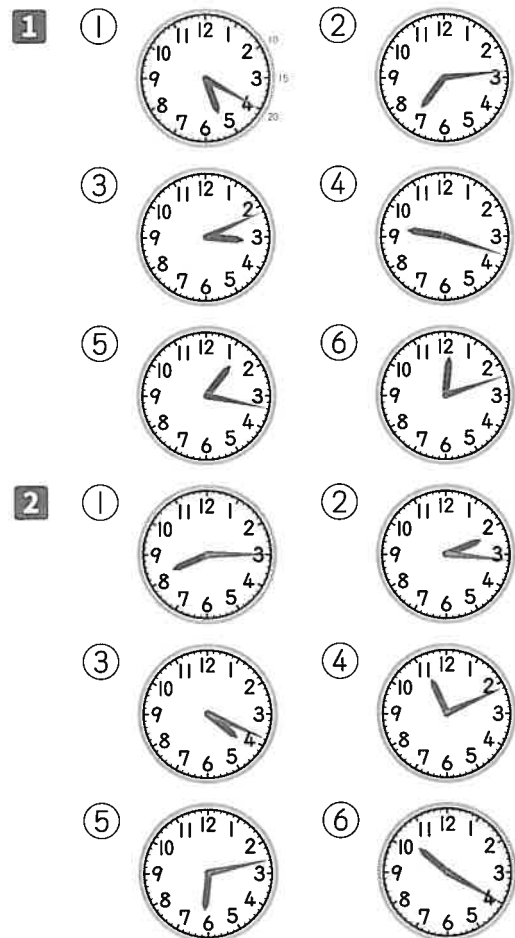
みじかい はりは どの すうじと どの すうじの あいだにあるかな?

● おうちのかたへ

長針が「16分」から「20分」を指すときの時計をよみます。文字盤の3は「15分」、4は「20分」であることを基準にして目盛りを数えましょう。

★ OK! □ 「〇時16分」から「〇時20分」までの、1分刻みの時刻のよみ方がわかる。

れんしゅう



「〇じなんぶん」の とけいの みじかい はりは、「〇」の すうじと その つぎの すうじの あいだに かくよ!

● おうちのかたへ

「〇時11(～20)分」のとき、「〇」とその次の数字の間に短針をかきますが、真ん中よりも「〇」に近いところを指すようにかけていたら大いにほめてあげましょう。実際の時計で、長針を2と4の間で動かし、そのときに短針がどこを指しているかを見せてあげるとよいでしょう。

★ OK! 「〇時11分」から「〇時20分」までの、長針と短針の位置がわかる。

きほん

(9じ25ぶん)

- 1 ① (9じ24ぶん)
 ② (9じ21ぶん)
 ③ (9じ23ぶん)
 ④ (9じ22ぶん)

ながい はりは 4と 5の あいだにあるね。

- 2 ① (12じ23ぶん)
 ② (8じ24ぶん)
 ③ (7じ22ぶん)
 ④ (11じ25ぶん)
 ⑤ (1じ23ぶん)
 ⑥ (4じ21ぶん)

ながい はりが 4を さすのは、「〇じ20ぶん」の ときだったね。

● おうちのかたへ

長針が「21分」から「25分」を指すときの時計をよみます。文字盤の4は「20分」、5は「25分」であることを基準にして目盛りを数えましょう。

★ OK! 「〇時21分」から「〇時25分」までの、1分刻みの時刻のよみ方がわかる。

きほん

(9じ30ぶん)

- 1 ① (9じ27ぶん)
 ② (9じ29ぶん)
 ③ (9じ28ぶん)
 ④ (9じ26ぶん)

ながい はりは 5と 6の あいだにあるね。

- 2 ① (2じ30ぶん)
 ② (10じ26ぶん)
 ③ (6じ28ぶん)
 ④ (3じ27ぶん)
 ⑤ (4じ30ぶん)
 ⑥ (5じ29ぶん)

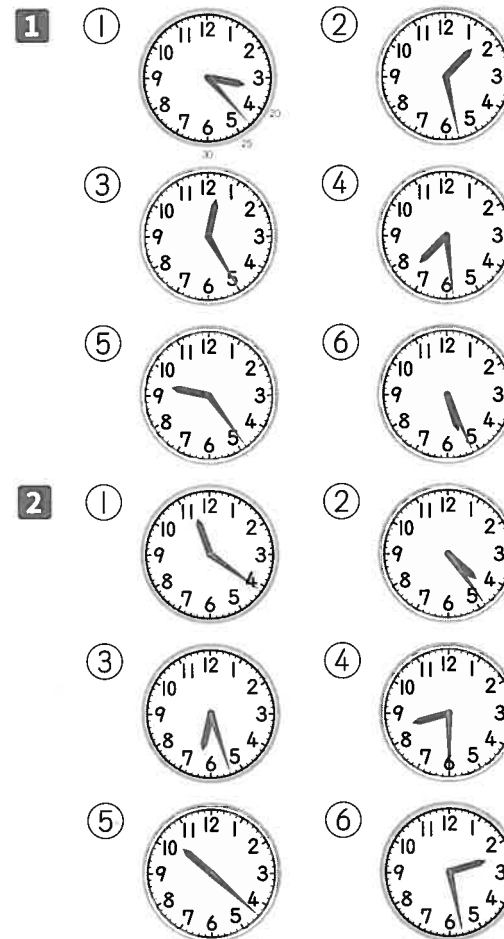
みじかい はりが どの すうじと どの すうじの あいだにあるかを見て、なんじかを こたえよう。

● おうちのかたへ

長針が「26分」から「30分」を指すときの時計をよみます。文字盤の5は「25分」、6は「30分」であることを基準にして目盛りを数えましょう。

★ OK! 「〇時26分」から「〇時30分」までの、1分刻みの時刻のよみ方がわかる。

れんしゅう



「〇じなんぶん」の とけいの みじかい はりは、「〇」の すうじと その つぎの すうじの あいだに かくよ!

● おうちのかたへ

「〇時21(～29)分」のとき、「〇」とその次の数字の間に短針をかきます。「〇時30分」は「〇時半」と同じなので、短針は「〇」とその次の数字の真ん中にかけていたら、ほめてあげましょう。

★ OK! 「〇時21分」から「〇時30分」までの、長針と短針の位置がわかる。

おうようだい

1 ①



(8じ5ふん)



(8じ7ふん)



(8じ13ふん)

②



③ (7)

「〇ふん」は、ながい はりが さす めもりで あらわされるよ。

● おうちのかたへ

ある朝の登校の様子を見て、その中の場面の時刻を答える問題です。お子さまと一緒に「今日は何時に家を出た?」、「学校には何時に着いた?」などと、自分の生活に結びつけて考えてみましょう。

★ OK! 生活の場面と結びつけて、「何時何分」がわかる。

きほんレベル

1

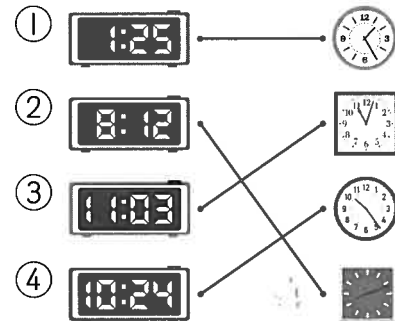
- ① (3じ3ふん)
- ② (9じ10ふん)
- ③ (11じ15ふん)
- ④ (2じ19ふん)
- ⑤ (4じ25ふん)
- ⑥ (7じ27ふん)

2

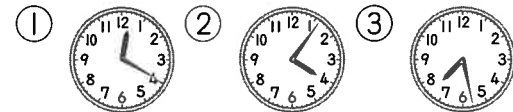


はってんレベル

3



4



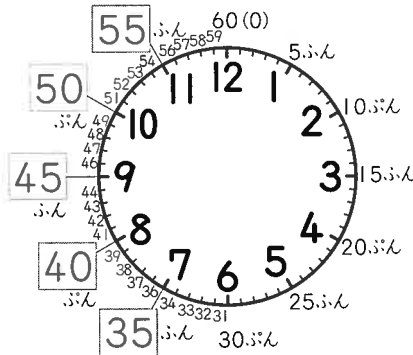
みじかい はりを かく ばあいは、どこを さすかに きを つけて かこう。

● おうちのかたへ

「〇時1分」から「〇時30分」までの、「何時何分」のまとめの問題です。間違えた場合は、どこでつまづいたのかを見てあげましょう。全部できたら、ここまでの学習が身に付いた証拠ですので、たくさんほめてあげましょう。

★ OK! 「何時何分」がわかる。
 デジタル時計のよみ方がわかる。

きほん



1

- ① (4じ35ふん)
- ② (4じ40ふん)
- ③ (4じ45ふん)
- ④ (4じ50ふん)
- ⑤ (4じ55ふん)

ながい はりが すうじの めもりを さして いるね。5とびの かぞえかた で かぞえて、なんぷんか こたえよう。

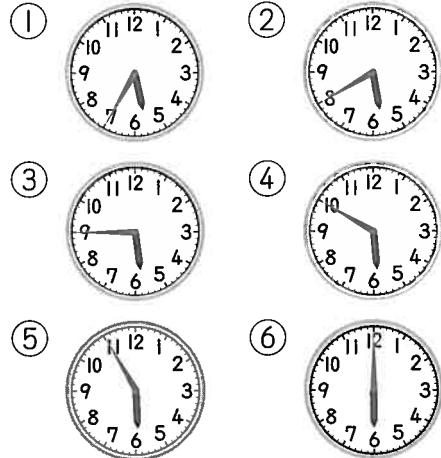
● おうちのかたへ

時計の文字盤の7から11の数字を指しながら、5とびの数え方で、「35分」、「40分」、…、「55分」と声を出してよんでみるとよいでしょう。

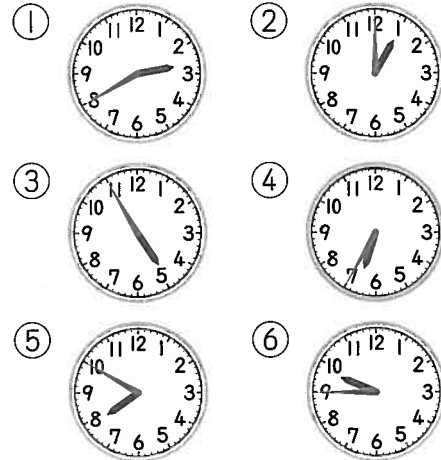
★ OK! 「〇時35分」から「〇時55分」までの、5分ごとの時刻のよみ方がわかる。

れんしゅう

1



2



ながい はりが すうじの めもりを さすように かこう!

● おうちのかたへ

長針が数字の目盛りを指すときの練習です。時計の数字を7から順に「35, 40, 45…」というように、5とびの数え方を覚えましょう。

★ OK! 「〇時35分」から「〇時55分」までの、5分ごとの長針の位置がわかる。

きほん

(1じ35ぶん)

- 1 ① (1じ31ぶん)
- ② (1じ34ぶん)
- ③ (1じ32ぶん)
- ④ (1じ33ぶん)

ながい はりは 6と 7の あいだにあるね。

- 2 ① (8じ35ぶん)
- ② (12じ34ぶん)
- ③ (5じ31ぶん)
- ④ (4じ33ぶん)
- ⑤ (11じ32ぶん)
- ⑥ (6じ35ぶん)

ながい はりが 6を さすのは、「〇じ30ぶん」の ときだったね。

● おうちのかたへ

長針が「31分」から「35分」を指すときの時計をよみます。文字盤の6は「30分」、7は「35分」であることを基準にして目盛りを数えましょう。

★ OK! □ 「〇時31分」から「〇時35分」までの、1分刻みの時刻のよみ方がわかる。

きほん

(1じ40ぶん)

- 1 ① (1じ39ぶん)
- ② (1じ38ぶん)
- ③ (1じ37ぶん)
- ④ (1じ36ぶん)

ながい はりは 7と 8の あいだにあるね。

- 2 ① (2じ36ぶん)
- ② (10じ39ぶん)
- ③ (3じ40ぶん)
- ④ (5じ36ぶん)
- ⑤ (9じ37ぶん)
- ⑥ (7じ38ぶん)



みじかい はりが どの すうじと どの すうじの あいだにあるかを見て、なんじかを こたえよう。



● おうちのかたへ



長針が「36分」から「40分」を指すときの時計をよみます。文字盤の7は「35分」、8は「40分」であることを基準にして目盛りを数えましょう。



★ OK! □ 「〇時36分」から「〇時40分」までの、1分刻みの時刻のよみ方がわかる。



れんしゅう



1 ①  ② 

③  ④ 

⑤  ⑥ 

2 ①  ② 

③  ④ 

⑤  ⑥ 

「〇じなんぶん」の とけいの みじかい はりは、「〇」の すうじと その つぎの すうじの あいだに かくよ!

● おうちのかたへ

「〇時31(～40分)」のとき、「〇」とその次の数字の間に短針をかきますが、真ん中よりも「〇」の次の数字に近いところを指すようにかけていたら、針の動きを理解している証拠です。大いにほめてあげましょう。

★ OK! □ 「〇時31分」から「〇時40分」までの、長針と短針の位置がわかる。

きほん

(2じ45ぶん)

- 1 ① (2じ41ぶん)
- ② (2じ42ぶん)
- ③ (2じ43ぶん)
- ④ (2じ44ぶん)

ながい はりは 8と 9の あいだにあるね。

- 2 ① (3じ44ぶん)
- ② (10じ41ぶん)
- ③ (7じ45ぶん)
- ④ (5じ42ぶん)
- ⑤ (1じ44ぶん)
- ⑥ (9じ43ぶん)

ながい はりが 8を さすのは、「〇じ40ぶん」の ときだったね。

● おうちのかたへ

長針が「41分」から「45分」を指すときの時計をよみます。文字盤の8は「40分」、9は「45分」を表すことを確認して、目盛りを数えましょう。

★ OK! □ 「〇時41分」から「〇時45分」までの、1分刻みの時刻のよみ方がわかる。

きほん

(2じ50ぶん)

- 1 ① (2じ47ぶん)
 ② (2じ46ぶん)
 ③ (2じ49ぶん)
 ④ (2じ48ぶん)

ながい はりは 9と 10の あいだに
あるね。

- 2 ① (8じ46ぶん)
 ② (12じ48ぶん)
 ③ (11じ50ぶん)
 ④ (4じ47ぶん)
 ⑤ (6じ48ぶん)
 ⑥ (9じ49ぶん)

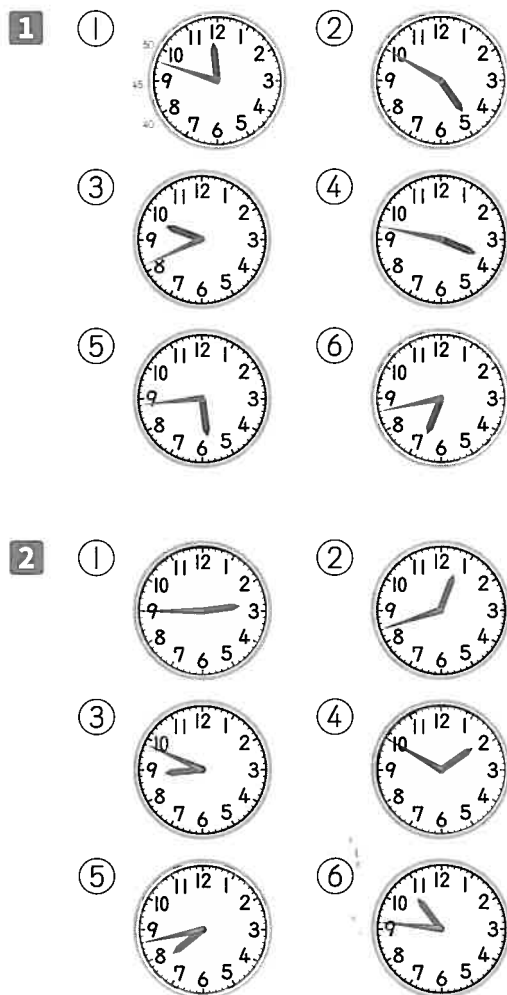
みじかい はりが どの すうじと どの
すうじの あいだに あるかを 見
て、なんじかを こたえよう!

● おうちのかたへ

長針が「46分」から「50分」を指すときの時計をよみます。文字盤の9は「45分」、10は「50分」を表すことを確認して、目盛りを数えましょう。

★ OK! □ 「〇時46分」から「〇時50分」までの、1分刻みの時刻のよみ方がわかる。

れんしゅう



「〇じなんぶん」の とけいの みじかい
はりは、「〇」の すうじと その
つぎの すうじの あいだに かくよ!

● おうちのかたへ

「〇時41(～50分)」のとき、「〇」とその次の数字の間に短針をかきますが、真ん中よりも「〇」の次の数字に近いところを指すようにかくことを意識しましょう。

★ OK! □ 「〇時41分」から「〇時50分」までの、長針と短針の位置がわかる。

きほん

(3じ55ぶん)

- 1 ① (3じ52ぶん)
 ② (3じ51ぶん)
 ③ (3じ53ぶん)
 ④ (3じ54ぶん)

ながい はりは 10と 11の あいだに
あるね。

- 2 ① (1じ51ぶん)
 ② (6じ55ぶん)
 ③ (8じ53ぶん)
 ④ (11じ54ぶん)
 ⑤ (4じ52ぶん)
 ⑥ (9じ51ぶん)

ながい はりが 10を さすのは、
「〇じ50ぶん」の ときだったね。

● おうちのかたへ

文字盤の10は「50分」、11は「55分」を表すことを確認しましょう。

また、「〇時」をよむときは気を付けましょう。例えば、「1時51分」のとき、短針は2にととても近いので、「2時51分」と間違えてしまうかもしれません。「短い針は1と2の間にあるかな? 2と3の間にあるかな?」などと声をかけて、気づかせてあげるとよいでしょう。

★ OK! □ 「〇時51分」から「〇時55分」までの、1分刻みの時刻のよみ方がわかる。

きほん

(3じ59ぶん)

- 1 ① (4じ)
 ② (3じ58ぶん)
 ③ (3じ57ぶん)
 ④ (3じ56ぶん)

ながい はりは 11と 12の あいだに
あるね。

- 2 ① (5じ57ぶん)
 ② (2じ)
 ③ (7じ59ぶん)
 ④ (4じ56ぶん)
 ⑤ (10じ58ぶん)
 ⑥ (12じ)

みじかい はりが どの すうじと どの
すうじの あいだに あるかを よ
く 見てね!

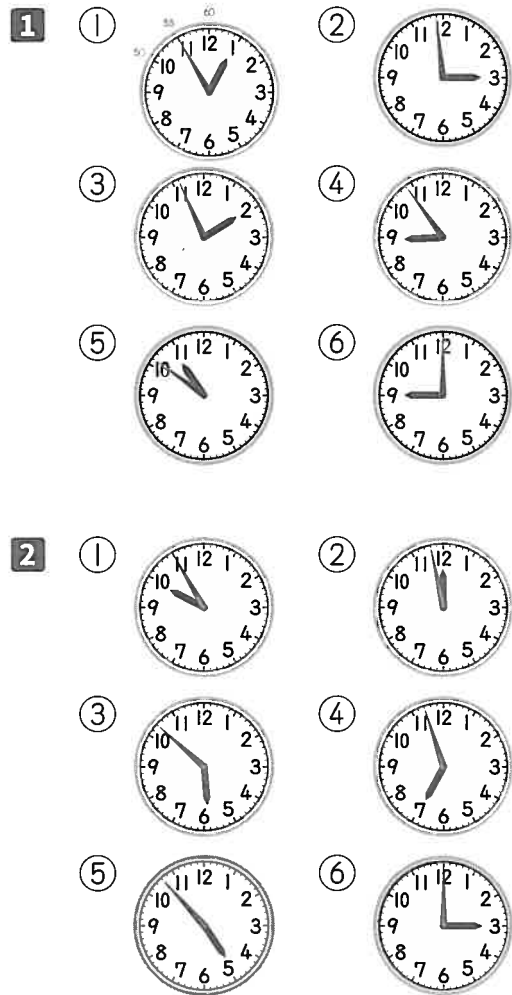
● おうちのかたへ

文字盤の11は「55分」、12は「60(0)分」を表すことを確認しましょう。

長針が12を指す場合は、P.10で学習したように、短針の指す数字を見て「〇時」となることを思い出しましょう。「4時(ちょうど)」のとき、長針は「59分」の次の目盛りを指しますが「3時60分」とはいけません。また、「3時59分」はあと1分で「4時」なので、「4時1分前」ということを、教えてあげてもよいでしょう。

★ OK! □ 長針が56分から60分までを指すときの、1分刻みの時刻のよみ方がわかる。

れんしゅう



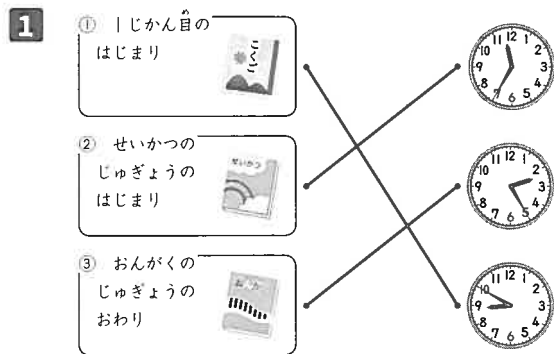
「〇じ」のとき、ながい はりは 12を、みじかい はりは 「〇」を さすよ!

● おうちのかたへ

「〇時51(～59)分」のとき、「〇」とその次の数字の間に短針をかきますが、「〇」の次の数字に近いところを指すようにかくことを意識しましょう。

OK! 長針が51分から60分までを指すときの、長針と短針の位置がわかる。

おうようだい



- 2 ① (6じ27ぶん)
② (6じ50ぶん)
③

「なんじ」は みじかい はりで、「なんぶん」は ながい はりで あらわすよ。

● おうちのかたへ

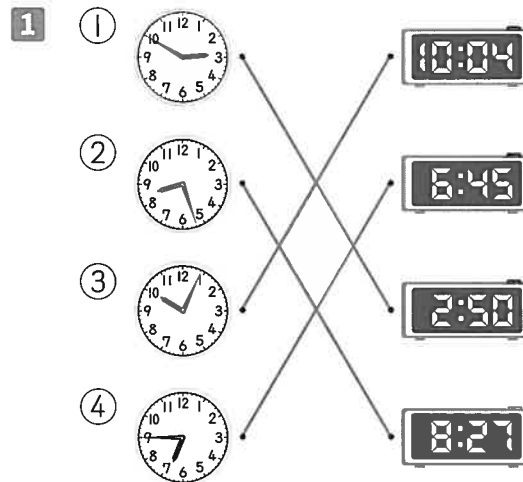
時間割やある夜のような様子を見て、その中の場面の時刻を答える問題です。お子さまにも「今日は何時に宿題を始めたの?」「テレビは何時まで見るの?」などとたずねて、自分の生活に結びつけて確認できるとよいでしょう。

OK! 生活の場面と結びつけて、「何時何分」がわかる。

きほん

- ① (9じ15ぶん)
② (3じ42ぶん)
1 ① (7じ20ぶん)
② (1じ5ぶん)
③ (11じ16ぶん)
④ (4じ38ぶん)

れんしゅう



「:」のまえの すうじで 「〇じ」、うしろの すうじで 「〇ぶん」とよむよ。

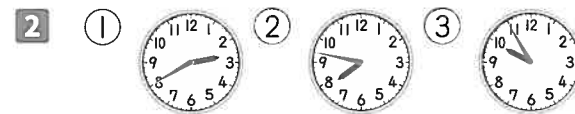
● おうちのかたへ

デジタル時計の「〇時〇分」のよみ方を覚えます。よめるようになったら、家にあるデジタル時計とアナログ時計を使って、「〇時〇分」の時刻が、それぞれどのように表されているかを見比べてみましょう。

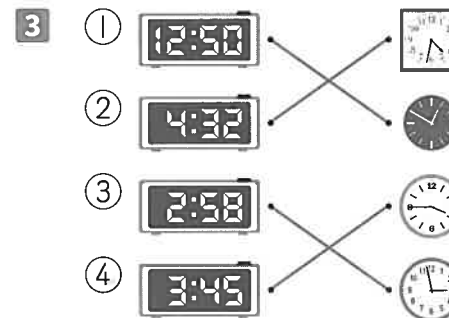
OK! デジタル時計での、「何時何分」のよみ方がわかる。

きほんレベル

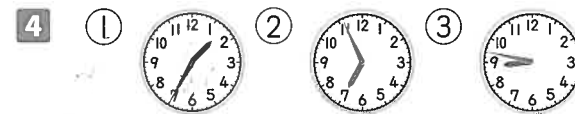
- 1 ① (5じ35ぶん)
② (12じ38ぶん)
③ (8じ41ぶん)
④ (1じ50ぶん)
⑤ (6じ55ぶん)
⑥ (11じ59ぶん)



はってんレベル



右がわの はりの ついた とけいをすうじで あらわして、デジタルどけいの じかんと くらべて みよう。



● おうちのかたへ

「〇時31分」から「〇時59分」までの、「何時何分」のまとめの問題です。間違えた場合は、どこでつまづいたのかを見て、前のページをもう一度やり直してみましょう。

OK! 「何時何分」がわかる。
 デジタル時計のよみ方がわかる。

42 かんせいテスト①

88・89
ページ

- 1 ① (10じ25ぶん)
 ② (2じ47ぶん)
 ③ (6じ)
 ④ (4じ55ぶん)
 ⑤ (7じ30ぶん),
 または, (7じはん)
 ⑥ (5じ24ぶん)
 ⑦ (1じ)
 ⑧ (8じ10ぶん)
 ⑨ (9じ35ぶん)

「〇じ」は みじかい はりを,
 「〇ぶん」は ながい はりを 見て
 かんがえよう!

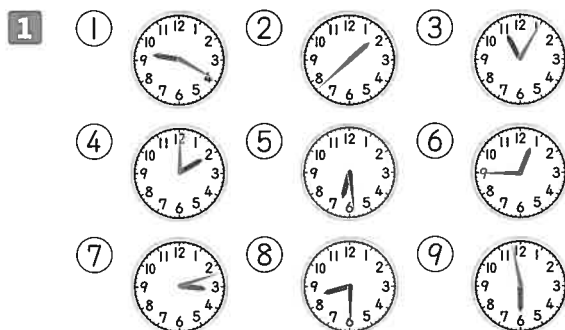
- 2 ① (3じ5ぶん)
 ② (3じ15ぶん)
 ③ (3じ20ぶん)
 ④ (イ)

● おうちのかたへ

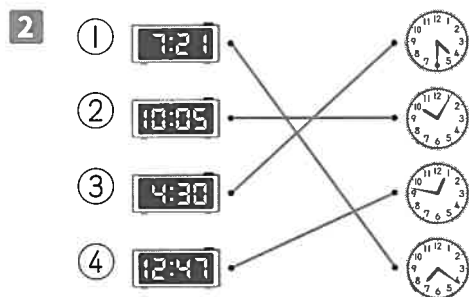
時計のよみ方のテストです。できなかった問題についてはどこでつまづいたのかを見て、一緒に確認していきましょう。100点になったら一緒に喜んであげてください。

43 かんせいテスト②

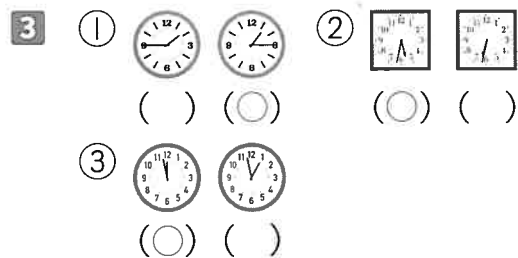
90・91
ページ



ながい はりは 「〇ぶん」を あらわす
 めもりを さすように かこう!



はりの ついた とけいの じかんで
 すうじで あらわして, デジタルどけい
 の じかんと くらべて みよう。



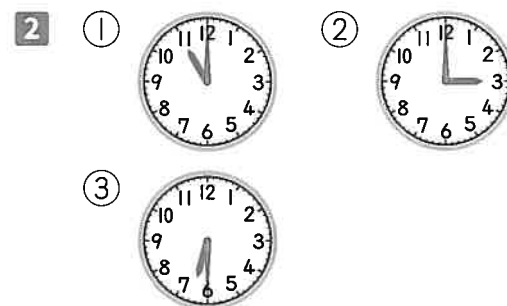
● おうちのかたへ

問題が解けているかどうかだけでなく、できれば、解き方についても見てあげましょう。例えば、正しいほうの時計を選ぶ問題では、両方の時刻をよんで比べる解き方のほかに、「短い針が6より前を指しているほうが5時〇分を表す」というように、異なる部分で判断する解き方を教えてあげてもよいでしょう。

44 かんせいテスト③

92・93
ページ

- 1 ① (1じ32ぶん)
 ② (9じ5ぶん)
 ③ (7じ35ぶん)
 ④ (4じ14ぶん)
 ⑤ (2じ20ぶん)
 ⑥ (8じ46ぶん)



みじかい はりは, 「〇じ」の ときは
 「〇」の すうじを, 「〇じはん」の ときは
 「〇」と その つぎの すうじ
 の あいだを さすよ!

- 3 ① (イ) ② (イ)
 ③ (え) ④ (あ)

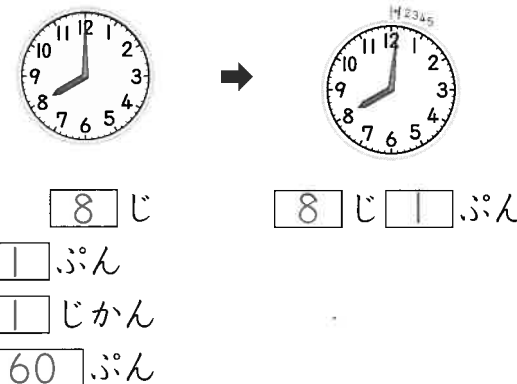
● おうちのかたへ

数字で示された時刻ではなく、3の②のような、一定の時間の間のある時刻を考える問題は難しいかもしれませんが。わからなかった場合は、時計の針を、11時35分から12時20分まで動かして、その中に②の時刻があることを見せてあげましょう。

このテストが100点になったら、お子さまは、時計のよみにおいて心配ありません。ふだんの生活の中で実際に使えるように、日々一緒に時計をよむ習慣をつけていきましょう。

45 2年生の 先どり

94・95
ページ



- 1 ① 30 ぶん
 ② 15 ぶん
 ③ 〇 じかん

ながい はりは 1ぶんで 1めもり,
 1じかんで 1まわり すすむよ!

● おうちのかたへ

2年生で習う内容の一部を先取りするページです。2年生では、時刻と時間の違いや、1時間=60分、午前と午後の考え方を学びます。とき終わったら、先どり学習に挑戦してがんばったことをほめてあげてください。

